# エバーゴル® ワイド

## 箱粒剤

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。
●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

Bayer CropScience
バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5　〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp
お客様相談室：0120-575-078（9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日をのぞく）

第1版　（P-2021 14.04.JWT）

技術資料

エバーゴル® ワイド
箱粒剤

# 箱処理で、稲を守る力強い守護者

ルーチン入ってます
いもち病防除の新定番
新規紋枯剤
エバーゴルスイ

Bayer CropScience

® はバイエルグループの登録商標

## はじめに

エバーゴルワイド箱粒剤は、バイエルクロップサイエンス社が新規に開発したイネ紋枯病防除用殺菌剤ペンフルフェン、植物病害抵抗性誘導剤のイネいもち病防除用殺菌剤イソチアニル、幅広い害虫に対し高い防除効果と持続性を兼ね備えたネオニコチノイド系殺虫剤のイミダクロプリド、チョウ目害虫に卓効を示すアントラニリックジアミド系殺虫剤のクロラントラニリプロールを含有した水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤です。
本剤はBCM-092粒剤の試験コード名で一般社団法人日本植物防疫協会を通じた公的試験が実施され、水稲の主要病害虫であるいもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、フタオビコヤガ、コブノメイガ、ニカメイチュウに対して優れた防除効果を示す事が確認され、平成26年4月24日付で新規農薬登録を取得いたしました。

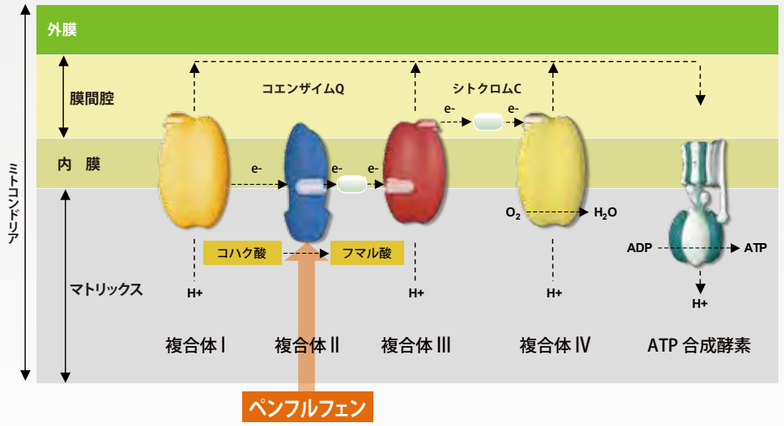
この技術資料は今までに得られた知見を基にエバーゴルワイド箱粒剤の特長、作用性、試験成績などを取りまとめたもので、今後の試験等にご活用いただければ幸いです。

## もくじ


はじめに・・・

## ペンフルフェンの作用機構

ペンフルフェンは、病原菌のミトコンドリア電子伝達系の複合体Ⅱたんぱく質（コハク酸脱水素酵素）に作用してエネルギー代謝を妨げます。その結果、病原菌の生活環における主たる生育段階、すなわち菌糸伸長、胞子発芽、発芽管伸長、胞子形成などを強く阻害することが認められています。特に担子菌類のリゾクトニア属菌に対しては低薬量で優れた効果を示します。




## 抗菌スペクトラム

ペンフルフェンの各種植物病原菌に対する効果を菌糸伸長阻害試験により確認した結果、本剤は担子菌類と一部の子嚢菌類に高い活性を示しました。

ペンフルフェンの各種植物病原菌に対する生物活性（菌糸伸長阻害効果）

| | 病名 | 学名 | 阻害効果 |
|---|---|---|---|
| 子嚢菌類 | イネいもち病 | *Magnaporthe grisea* | + |
| | イネばか苗病 | *Gibberella fujikuroi* | + |
| | イネごま葉枯病 | *Cochliobolus miyabeanus* | + |
| | キュウリ灰色かび病 | *Botrytis cinerea* | ++ |
| | リンゴ斑点落葉病 | *Alternaria mali* | ++ |
| | シバ雪腐大粒菌核病 | *Sclerotinia borealis* | +++ |
| 接合菌類 | イネ苗立枯病 | *Rhizopus oryzae* | - |
| 担子菌類 | イネ紋枯病 | *Thanatephorus cucumeris AG-1* | +++ |
| | イネ褐色紋枯病（疑似紋枯症） | *Thanatephorus cucumeris AG-2-2* | ++ |
| | イネ赤色菌核病（疑似紋枯症） | *Waitea circinata* | ++ |
| | イネ褐色菌核病（疑似紋枯症） | *Ceratobasidium setariae* | +++ |
| | イネ灰色菌核病（疑似紋枯症） | *Ceratobasidium cornigerum* | +++ |
| | イネ球状菌核病（疑似紋枯症） | *Sclerotium hydrophilum* | +++ |
| | イネ褐色小粒菌核病（疑似紋枯症） | *Rhizoctonia zeae* | +++ |
| | シバ葉腐病(ラージパッチ) | *Rhizoctonia solani* | ++ |
| | シバ雪腐褐色小粒菌核病 | *Typhula incarnata* | +++ |
| 卵菌類 | イネ苗立枯病 | *Pythium sp.* | - |
| | トマト疫病 | *Phytophthora infestans* | - |

－：活性なし　～　+++：高い活性　　寒天平版希釈法による菌糸伸長阻害試験

## 稲の2大病害【紋枯病】

紋枯病は感染好適条件下で爆発的な増加を示すいもち病とは大きく異なり、じわじわと病勢進展する病害です。本病を発病したイネは茎や葉鞘の表面に菌核（紋枯病菌の菌糸のかたまり）をつくります。菌核は田面に落ちて越冬し、翌年の代かきによって浮き上がりイネの株元に付着します。温度・湿度が好適になると発病し、温度の上昇とともに菌糸によって病勢進展します。

発病株は、葉鞘や葉身が枯死するとともに倒伏しやすくなり、白未熟粒の発生が助長され、収量と品質の低下を生じます。

倒伏

健全な粒　白未熟粒





## 稲の2大病害【紋枯病】

### 菌核の形成阻害効果

2013年 バイエルクロップサイエンス社内試験

| 供試薬剤 | 濃度(ppm) | 菌核形成数 | 菌核形成阻害率(%) |
|---|---|---|---|
| ペンフルフェン | 100 | 0 | 100 |
| | 25 | 0 | 100 |
| | 6.3 | 0 | 100 |
| | 1.6 | 19.3 | 92.7 |
| | 0.4 | 37.7 | 85.7 |
| 有効成分A | 100 | 3 | 98.9 |
| | 25 | 6 | 97.7 |
| | 6.3 | 32.3 | 87.8 |
| | 1.6 | 38.3 | 85.5 |
| | 0.4 | 115 | 56.4 |
| 有効成分B | 100 | 0 | 100 |
| | 25 | 3.7 | 98.6 |
| | 6.3 | 25 | 90.5 |
| | 1.6 | 60 | 77.3 |
| | 0.4 | 224 | 15.2 |
| 無処理 | - | 264 | 0 |

エバーゴル（ペンフルフェン）は、対照剤に比べて低薬量で優れた効果を示し、高い活性が認められました。

【試験方法】
PDA培地上にあらかじめイネ紋枯病菌（菌株名:HS-T）の菌叢を形成させておき、所定濃度に希釈した試験液を流し込み、30秒後に余分な試験液を除去後25℃で更に7日間培養し、形成された菌核数を調査した。

### 菌核の発芽阻害効果

2013年 バイエルクロップサイエンス社内試験

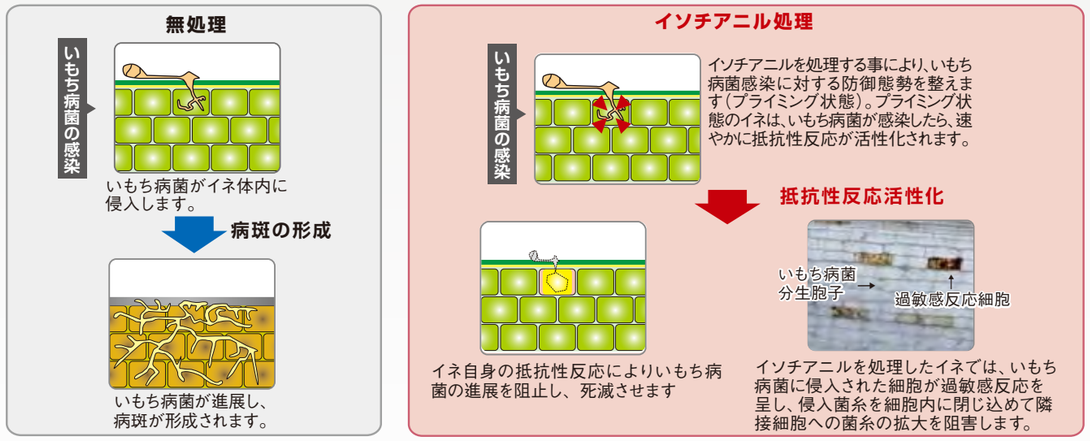
| 供試薬剤 | 濃度(ppm) | 供試菌核数 | 発芽菌核数 | 発芽率(%) | 菌核発芽阻害率(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| ペンフルフェン | 100 | 50 | 0 | 0 | 100 |
| | 25 | 50 | 6 | 12 | 86 |
| | 6.3 | 50 | 7 | 14 | 83.7 |
| | 1.6 | 50 | 16 | 32 | 62.8 |
| | 0.4 | 50 | 16 | 32 | 62.8 |
| 有効成分A | 100 | 50 | 11 | 22 | 74.4 |
| | 25 | 50 | 14 | 28 | 67.4 |
| | 6.3 | 50 | 14 | 28 | 67.4 |
| | 1.6 | 50 | 16 | 32 | 62.8 |
| | 0.4 | 50 | 24 | 48 | 44.2 |
| 有効成分B | 100 | 50 | 5 | 10 | 88.4 |
| | 25 | 50 | 18 | 36 | 58.1 |
| | 6.3 | 50 | 31 | 62 | 27.9 |
| | 1.6 | 50 | 31 | 62 | 27.9 |
| | 0.4 | 50 | 32 | 64 | 25.6 |
| 無処理 | - | 50 | 43 | 86 | 0 |

エバーゴル（ペンフルフェン）は、対照剤に比べて低薬量で優れた効果を示し、高い活性が認められました。

【試験方法】
イネ紋枯病菌株（菌株名:HS-T）の菌核を所定濃度に希釈した試験液に24時間浸漬後、PDA培地上で25℃、24時間培養し、実体顕微鏡を用いて発芽菌核数を調査した。

## イソチアニルの作用機構

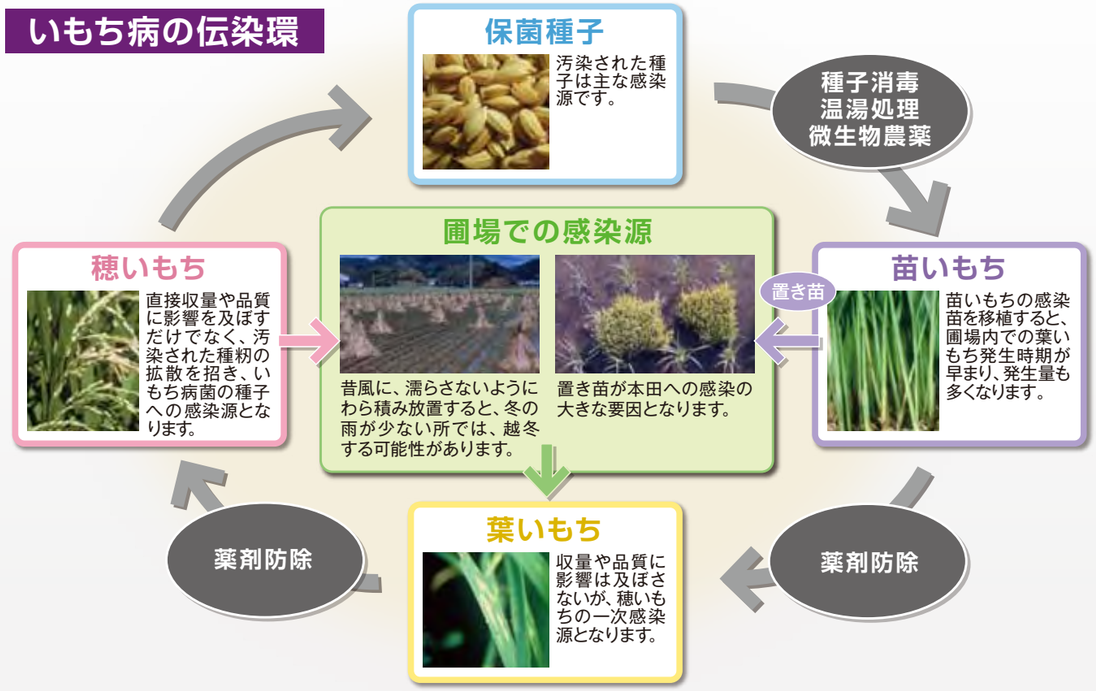
イソチアニルは、イネ自身が本来持っている病害抵抗性機能を増強させる植物病害抵抗性誘導型殺菌剤です。
イソチアニルは、処理後速やかに根部より吸収されイネ体内に移行し、さまざまな病害抵抗性関連の防御反応をイネ体内に誘導します。この時点からイネは、病原菌の侵入に備える自己防御態勢（プライミング状態）を整えます。
このようにイソチアニルは、イネが先天的に備えてる自己防御機構を増強させ、いもち病や白葉枯病などからイネを守ります。




## 稲の2大病害【いもち病】

いもち病はイネに対して最も甚大な被害を与える病気で、発生する部位や時期によって、苗いもち·葉いもち·節いもち·枝梗いもち·穂首いもちなどと呼び名が違います。
いもち病菌はイネの表皮に付着器を形成して、細胞壁を突き破って組織内に侵入し発病しますが、感染するためには、適度な気温と葉が一定時間以上濡れていることが必要です。いもち病は低温で雨の続く天候や窒素肥料を多用した場合に発病しやすく、イネの発芽まもない時期から収穫期近くまで長期間にわたり発生します。

### いもち病の伝染環

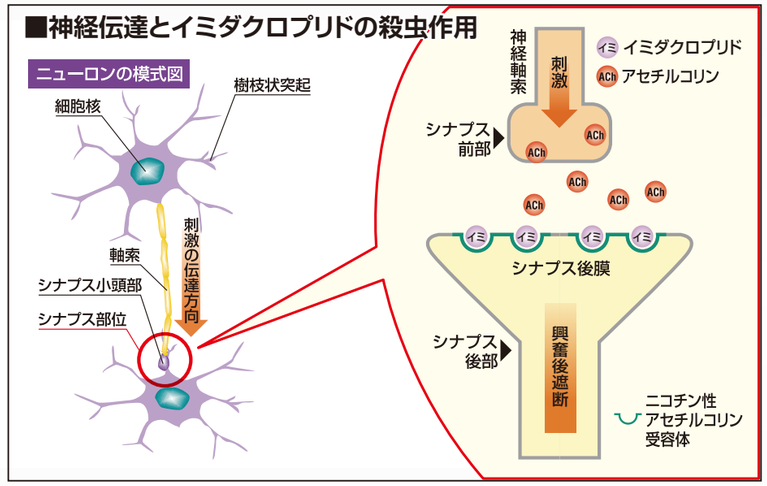



## いもち病防除のポイント

- POINT 1 種子更新を実施し、罹病していない健全種子を使用しましょう。
- POINT 2 塩水選を徹底し、種子消毒を行いましょう。
- POINT 3 育苗時に、育苗ハウス内やその周辺に伝染源となる被害藁、籾殻を放置しないで下さい。
- POINT 4 苗いもちが発病している苗を移植しないで下さい。
- POINT 5 補植苗は伝染源となりやすいので早めに除去し、圃場内に長く置かないで下さい。
- POINT 6 窒素過多は発病を助長するので、施肥管理を適切に行なって下さい。
- POINT 7 いもち病の薬剤防除は予防的に実施しましょう。

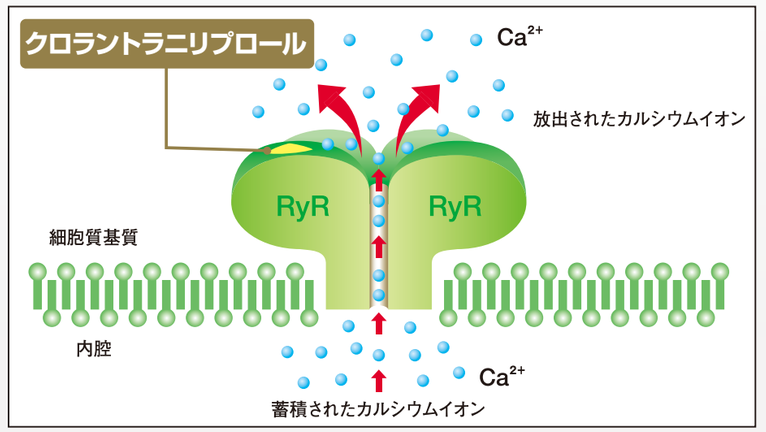
## イミダクロプリドの作用機構

イミダクロプリドは、シナプス後膜（ニコチン型アセチルコリンセプター）に作用し、神経を興奮させた後に遮断し、昆虫の活動低下を引き起こします。また、イミダクロプリドは口や皮膚から昆虫体内に容易に取り込まれ速効的な殺虫活性を示しますが、致死濃度以下でも全身的な弛緩や運動能力の低下を引き起こし、摂食、吸汁活動や歩行、飛翔行動を妨げ、交尾、産卵などの行動を抑え、その効果は長期間続きます。
強い殺虫活性とその後の長期間にわたる制虫剤的な作用が従来剤に見られないイミダクロプリドの大きな特長です。




## クロラントラニリプロールの作用機構

クロラントラニリプロールは、昆虫の筋収縮を誘発する新しい作用性を持つ殺虫剤です。筋肉細胞の筋小胞体は細胞内のカルシウムイオン濃度を調整することにより筋肉の収縮·弛緩をコントロールしています。クロラントラニリプロールは筋小胞体のリアノジン受容体（RyR）に結合して筋小胞体内のカルシウムイオンを細胞内に放出させます。その結果、昆虫は筋収縮を起こし速やかに活動を停止し、死亡します。




エバーゴル ワイド
箱粒剤

## 適用病害虫の範囲および使用方法（2014年4月現在）

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 稲（箱育苗） | 白葉枯病 | 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50g | 移植3日前～移植当日 | 本剤：1回<br>イミダクロプリド：3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）<br>クロラントラニリプロール：1回 | 育苗箱の上から均一に散布する。 |
| | イネドロオイムシ<br>イネミズゾウムシ<br>ウンカ類<br>ツマグロヨコバイ<br>ニカメイチュウ<br>コブノメイガ<br>イネツトムシ<br>フタオビコヤガ<br>いもち病<br>紋枯病 | | は種時（覆土前）～移植当日 | | |
| | | | は種前 | イソチアニル：3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）<br>ペンフルフェン：1回 | 育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。 |

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

## ⚠ 注意事項

**■使用上の注意事項**

●本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
●極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
●梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用を避けて下さい。
●軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
●本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
●いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
●きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

**■安全使用上の注意事項**

●誤食などのないよう注意して下さい。　●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
●水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
●水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすので、移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
●直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

## は種時処理について

エバーゴルワイド箱粒剤をは種時施薬機で処理する事によって、育苗箱処理の手間を省力し、効率的な作業が行えます。

**【は種時施薬機の一例】**

パラット
（株）美善

薬丸ヒット
（株）ホクエツ

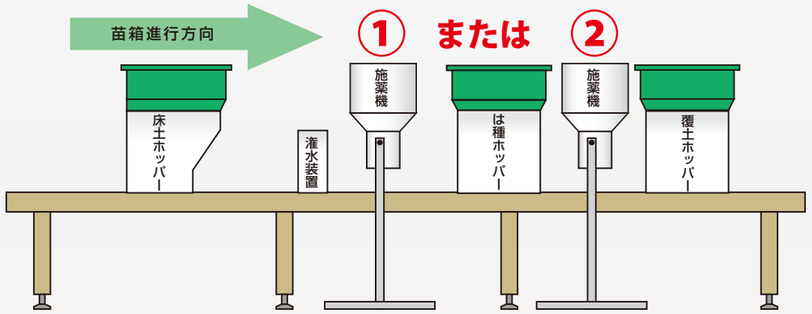
播種同時施薬装置
みのる産業（株）

SY-31
（株）クボタ

苗箱施薬ホッパー
（株）スズテック

**【は種時施薬機の設置例】**

は種時施薬機は、潅水装置の後に設置してください。（施薬機は、①または②の場所に設置して下さい。）




●は種作業の前に使用するは種時施薬機の散布量調整をお願いします。
●傾きがあると正確な散布が出来なく、散布ムラの原因になりますのでご注意下さい。
●は種時施薬機の取扱説明書の注意事項をご確認下さい。

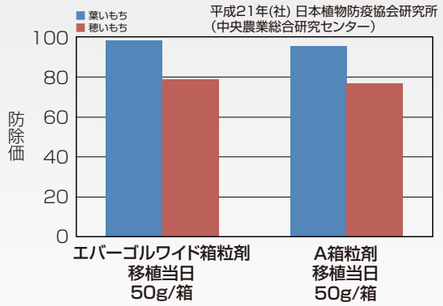
エバーゴルワイド箱粒剤は、は種時覆土前処理でも薬効・薬害が問題にならないように有効成分の溶出を最適化していますが、まれに薬害を生ずる事があります。
育苗中の薬害症状としては葉先枯れ、黄化、マット形成の不良がありますが、薬害症状が認められても移植後に回復します。



## 新農薬実用化試験成績

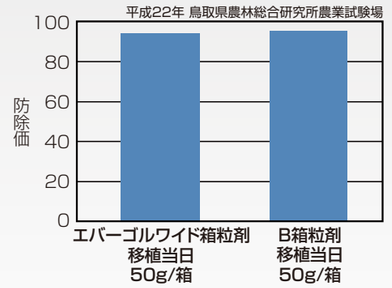
**エバーゴル ワイド**
箱粒剤

### いもち病に対する防除効果



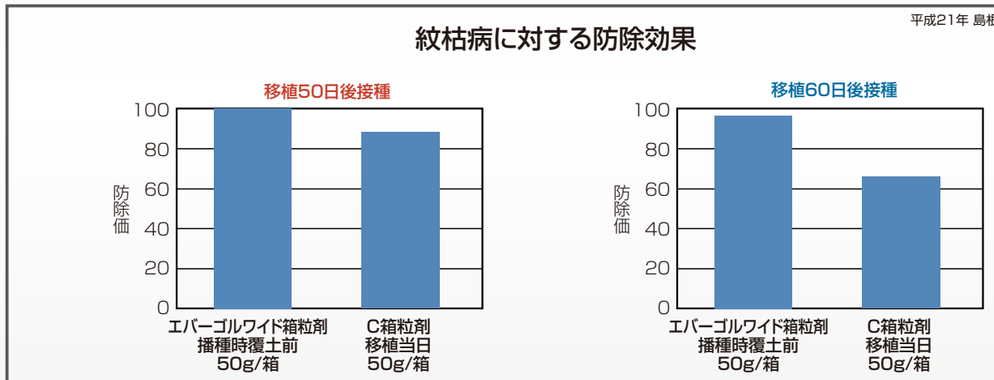

品種：キヌヒカリ　発生状況：葉いもち中発生(接種) 穂いもち少発生
移植：5月19日　処理：5月19日　調査：葉いもち7月29日　穂いもち9月3日
接種：6月10日

### 紋枯病に対する防除効果



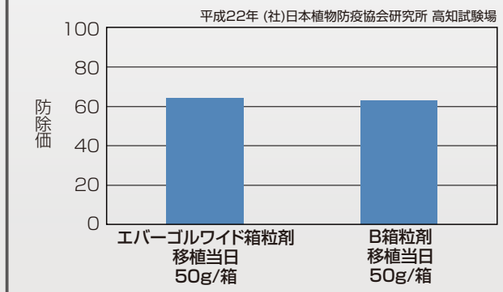

品種：コシヒカリ　発生状況：中発生(接種)
移植：5月25日　処理：5月25日　調査：9月7日
接種：6月10日

### 紋枯病に対する防除効果



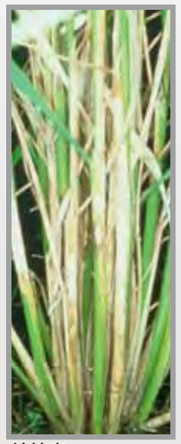

品種：コシヒカリ　発生状況：中発生(接種)
移植：6月8日　処理：播種時覆土前5月18日　移植当日6月8日　調査：9月14日
接種：7月28日または8月7日

### 白葉枯病に対する防除効果




品種：コシヒカリ　発生状況：中発生(接種)
移植：6月5日　処理：6月5日　調査：9月11日
接種：接種苗を6月5日に移植

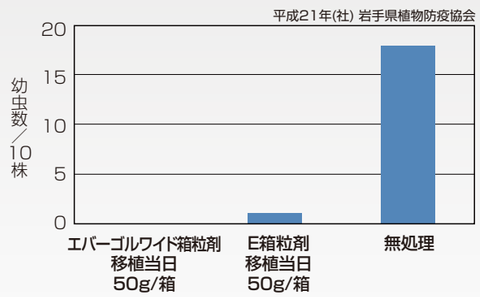
いもち病


紋枯病

白葉枯病

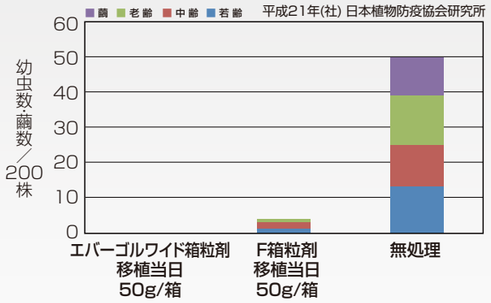
## 新農薬実用化試験成績

### イネミズゾウムシに対する防除効果



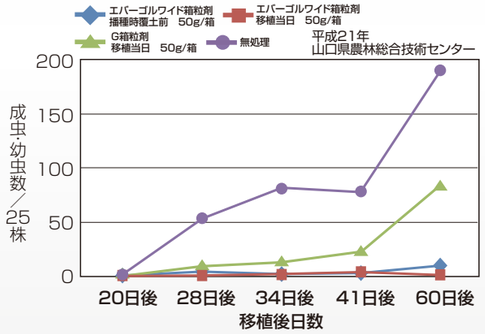

品種：あきたこまち　発生状況：中発生
移植：5月18日　処理：5月18日　調査：7月17日

### イネドロオイムシに対する防除効果



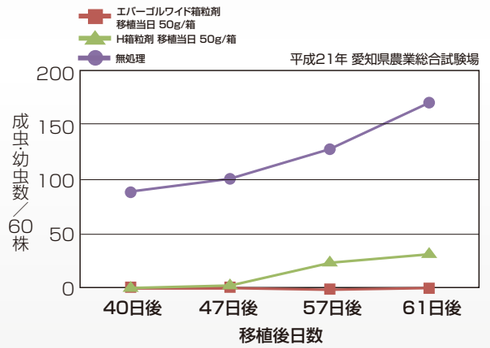

品種：コシヒカリ　発生状況：中発生
移植：5月4日　処理：5月4日　調査：6月12日

### セジロウンカに対する防除効果



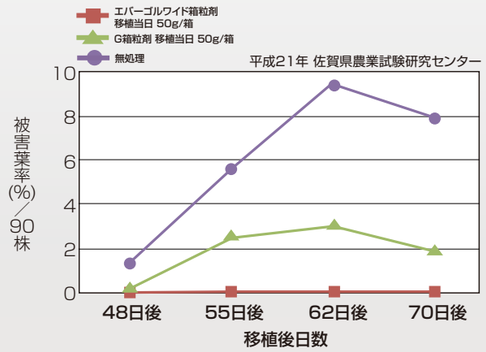

品種：ヒノヒカリ　発生状況：中発生　移植：6月19日
処理：播種時覆土前 5月26日移植当日 6月19日
調査：7月9日(20日後)、17日(28日後)、23日(34日後)、30日(41日後)、8月18日(60日後)

### ツマグロヨコバイに対する防除効果



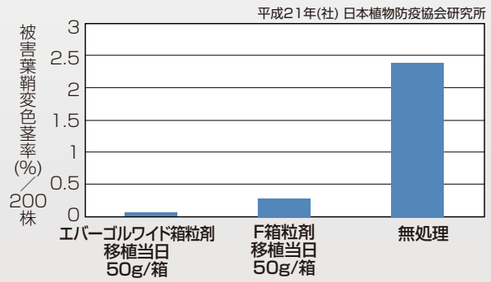

品種：あいちのかおり　発生状況:中発生　移植：6月3日　処理：6月3日
調査：7月13日(40日後)、20日(47日後)、30日(57日後)、8月3日(61日後)

### コブノメイガに対する防除効果




品種：ヒヨクモチ　発生状況：中発生　移植：6月24日　処理：6月24日
調査：8月11日(48日後)、18日(55日後)、25日(62日後)、9月2日(70日後)

### ニカメイチュウに対する防除効果



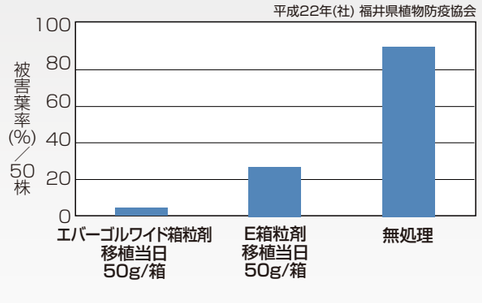

品種：コシヒカリ　発生状況：少発生(卵塊接種)
移植：5月4日　処理：5月4日　調査：7月2日
接種：6月15日および16日



## 新農薬実用化試験成績

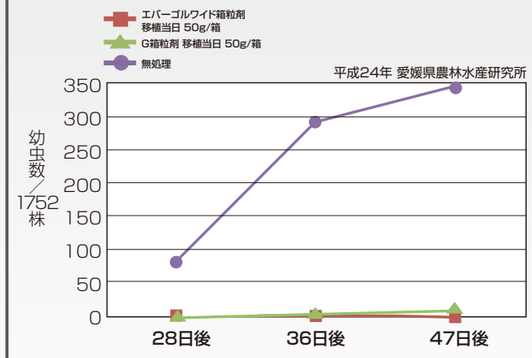
エバーゴル® ワイド
箱粒剤

### フタオビコヤガに対する防除効果

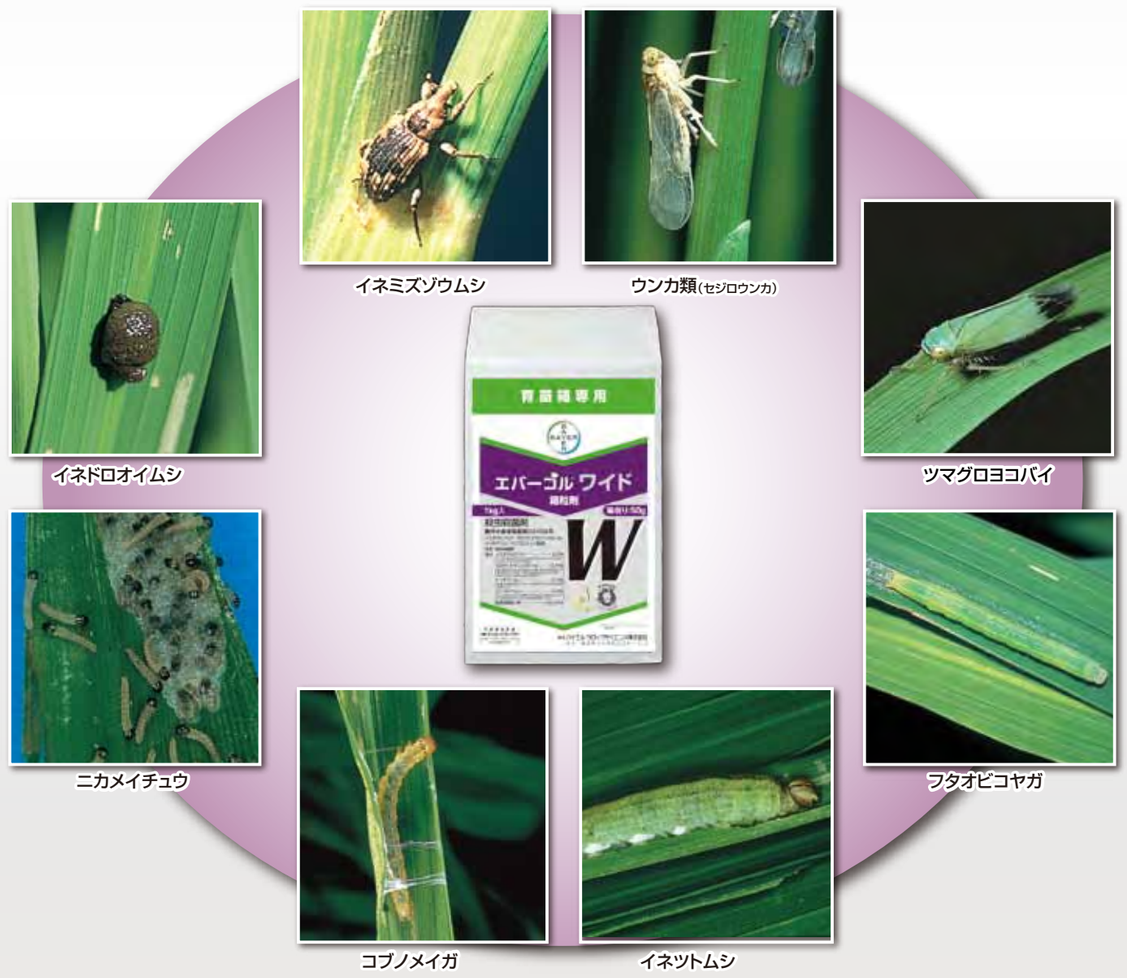



品種：ハナエチゼン　発生状況：中発生
移植：5月3日　処理：5月3日　調査：7月6日

### イネツトムシに対する防除効果




品種：しずく媛　発生状況:中発生
移植：5月3日　処理：5月3日　調査：7月6日



## 新農薬実用化試験成績概評（病害）

| 検討年度 | 作物名(品種)<br>栽培条件 | 病害虫名 | 実施機関 | 圃場 | 発生状況 | 処理量 | 処理法 | 回数 | 処理月日 | 対照薬剤名<br>(処理条件) | 対対照 | 対無処理 | 判定 | 薬害 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種:4/27<br>移植:5/19<br>出穂:8/7 | いもち病(葉･穂) | 日植防研<br>(中央農総研) | 本田 | 葉:中発生<br>穂:少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/19<br>移植当日 | A 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | B | B | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:5/8<br>移植:5/26<br>出穂:8/7 | いもち病(葉･穂) | 京都(環) | 本田 | 葉:少発生<br>穂:極少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>移植当日 | A 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:A | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:? | ? | ? | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:3/17<br>移植:4/13<br>出穂:7/5 | いもち病(葉･穂) | 日植防研<br>(高知) | 本田 | 葉:少発生<br>穂:中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/13<br>移植当日 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | B | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | C | C | - |
| 21 | 稲(はえぬき)<br>播種:4/20<br>移植:5/15<br>出穂:8/8 | いもち病(葉･穂) | 山形<br>(水田農試) | 本田 | 葉:少発生<br>穂:少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/20<br>播種時覆土前 | J 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | B | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | C | C | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:5/8<br>移植:5/26<br>出穂:8/7 | いもち病(葉･穂) | 兵庫北部 | 本田 | 葉:中発生<br>穂:少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/7<br>播種時覆土前 | K 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:C | B | B | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:D | C | C | - |
| 22 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種:4/27<br>移植:5/19<br>出穂:8/2 | いもち病(葉･穂) | 中央農総研<br>(病糸) | 本田 | 葉:中発生<br>穂:少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/27<br>播種時覆土前 | L 箱粒剤<br>50g/箱<br>播種時覆土前 | 葉:B | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:? | ? | ? | - |
| 22 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:4/16<br>移植:5/12<br>出穂:8/7 | いもち病(葉･穂) | 島根 | 本田 | 葉:中発生<br>穂:中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/16<br>播種時覆土前 | B 箱粒剤<br>50g/箱<br>播種時覆土前 | 葉:A | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | B | B | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:4/8<br>移植:5/3<br>出穂:8/1 | いもち病(葉･穂) | 福井植 | 本田 | 葉:少発生<br>穂:極少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 3/28<br>覆土混和 | E 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:C | C | C | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種:4/24<br>移植:5/20<br>出穂:8/7 | いもち病(葉･穂) | 鳥取 | 本田 | 葉:中発生<br>穂:中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/24<br>覆土混和 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:C | B | B | - |
| 22 | 稲(関東90号)<br>播種:5/10<br>移植:6/7<br>出穂:8/14 | いもち病(葉･穂) | 山口 | 本田 | 葉:中発生<br>穂:少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/10<br>覆土混和 | M 箱粒剤<br>50g/箱<br>播種時覆土前 | 葉:B | A | A | ± |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | B | B | - |
| 21 | 稲(ササニシキ)<br>播種:4/15<br>移植:5/19<br>出穂:8/10 | いもち病(葉･穂) | 東北農研 | 本田 | 葉:多発生<br>穂:甚発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/9<br>床土混和 | N 箱粒剤<br>(50g/箱,移植当日)<br>＋O 粒剤<br>(4kg/10a,7/29) | 葉:B | A | A | ± |
| | | | | | | | | | | | 穂:D | D | D | - |
| 21 | 稲(関東90号)<br>播種:5/14<br>移植:6/4<br>出穂:8/16 | いもち病(葉･穂) | 山口 | 本田 | 葉:多発生<br>穂:中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/14<br>床土混和 | P 箱粒剤<br>50g/箱<br>播種時覆土前 | 葉:A | A | A | ± |
| | | | | | | | | | | | 穂:A | B | B | - |
| 22 | 稲(関東90号)<br>播種:5/28<br>移植:6/17<br>出穂:8/24 | いもち病(葉･穂) | 岡山 | 本田 | 葉:多発生<br>穂:多発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/28<br>床土混和 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | 葉:B | A | A | - |
| | | | | | | | | | | | 穂:B | C | C | - |
| 21 | 稲(あきたこまち)<br>播種:4/10<br>移植:5/28<br>出穂:8/16 | 紋枯病 | 青森植 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/28<br>移植当日 | Q 箱粒剤<br>50g/箱<br>播種時覆土前 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(はえぬき)<br>播種:4/21<br>移植:5/15<br>出穂:8/4 | 紋枯病 | 山形 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/15<br>移植当日 | R 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | C | C | C | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:4/15<br>移植:5/12<br>出穂:8/3 | 紋枯病 | 日植防研<br>(千葉) | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/12<br>移植当日 | F 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(彩のかがやき)<br>播種:4/28<br>移植:5/15<br>出穂:8/15 | 紋枯病 | 埼玉 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/15<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種:4/22<br>移植:5/20<br>出穂:8/6 | 紋枯病 | 長野 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/20<br>移植当日 | B 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | A | A | - |



## 新農薬実用化試験成績概評（病害）

| 検討年度 | 作物名(品種)<br>栽培条件 | 病害虫名 | 実施機関 | 圃場 | 発生状況 | 処理量 | 処理法 | 回数 | 処理月日 | 対照薬剤名<br>(処理条件) | 対対照 | 対無処理 | 判定 | 薬害 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:5/3<br>移植:5/25<br>出穂:8/6 | 紋枯病 | 鳥取 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/25<br>移植当日 | B 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | A | A | - |
| 22 | 稲(きぬむすめ)<br>播種:4/23<br>移植:5/20<br>出穂:8/15 | 紋枯病 | 島根 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/20<br>移植当日 | R 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | A | A | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種:6/4<br>移植:6/24<br>出穂:8/30 | 紋枯病 | 福岡 | 本田 | 多発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/24<br>移植当日 | S 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(はえぬき)<br>移植:5/15<br>出穂:8/4 | 紋枯病 | 山形 | 本田 | 少<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/21<br>播種時覆土前 | R 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:4/15<br>移植:5/12<br>出穂:8/3 | 紋枯病 | 日植防研<br>(千葉) | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/15<br>播種時覆土前 | F 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | C | B | B | ± |
| 21 | 稲(彩のかがやき)<br>播種:4/28<br>移植:5/15<br>出穂:8/15 | 紋枯病 | 埼玉 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/28<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | A | B | - |
| 21 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種:4/22<br>移植:5/20<br>出穂:8/6 | 紋枯病 | 長野 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/22<br>播種時覆土前 | B 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:5/18<br>移植:6/8<br>出穂:8/13 | 紋枯病 | 島根 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/18<br>播種時覆土前 | C 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(ササニシキ)<br>播種:4/3<br>移植:5/2 | 紋枯病 | 宮城植 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/3<br>播種時覆土前 | U 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(関東90号)<br>播種:5/10<br>移植:6/7<br>出穂:8/14 | 紋枯病 | 山口 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/10<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | A | B | ± |
| 22 | 稲(はえぬき)<br>播種:4/19<br>移植:5/14<br>出穂:7/29 | 紋枯病 | 山形 | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/19<br>覆土混和 | V 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | A | A | ± |
| 22 | 稲(関東90号)<br>播種:5/28<br>移植:6/16<br>出穂:8/24 | 紋枯病 | 岡山 | 本田 | 甚発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/28<br>覆土混和 | U 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種:4/17<br>移植:5/13<br>出穂:8/13 | 紋枯病 | 岩手植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/17<br>床土混和 | W 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | B | B | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種:4/17<br>移植:5/11<br>出穂:8/10 | 紋枯病 | 宮城古川 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/16<br>床土混和 | V 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | A | B | B | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種:5/20<br>移植:6/19<br>出穂:8/26 | 白葉枯病 | 京都府大 | 本田 | 多発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | C | C | C | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種:5/7<br>移植:6/5<br>出穂:8/23 | 白葉枯病 | 日植防研<br>(高知) | 本田 | 中発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/5<br>移植当日 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種:4/19<br>移植:5/29<br>出穂:8/11 | 白葉枯病 | 大分植 | 本田 | 少発生<br>(接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/29<br>移植当日 | D 箱粒剤<br>50g/箱<br>移植当日 | C | B | B | - |

## 新農薬実用化試験成績概評（虫害）

| 検討年度 | 作物名(品種)<br>栽培条件 | 病害虫名 | 実施機関 | 圃場 | 発生状況 | 処理量 | 処理法 | 回数 | 処理月日 | 対照薬剤名<br>(処理条件) | 対対照 | 対無処理 | 判定 | 薬害 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 稲(あきたこまち)<br>播種：4/16<br>移植：5/18 | イネミズゾウムシ | 岩手植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/18<br>移植当日 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種：4/13<br>移植：5/13 | イネミズゾウムシ | 宮城植 | 本田 | 少発生(放虫) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/13<br>移植当日 | X 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(はえぬき)<br>播種：4/21<br>移植：5/14 | イネミズゾウムシ | 山形 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/14<br>移植当日 | A 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | C | C | C | - |
| 21 | 稲(まっしぐら)<br>播種：4/16<br>移植：5/22 | イネミズゾウムシ | 青森植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/22<br>移植当日 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | B | - |
| 21 | 稲(まっしぐら)<br>播種：4/16<br>移植：5/22 | イネミズゾウムシ | 青森植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/16<br>播種時覆土前 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | B | - |
| 22 | 稲(あきたこまち)<br>播種4/15<br>移植5/23 | イネミズゾウムシ | 岩手植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/15<br>床土混和 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種：4/17<br>移植：5/12 | イネミズゾウムシ | 福島 | 本田 | 中発生(放虫) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/16<br>覆土混和 | L 箱粒剤<br>50g/箱 播種時覆土前 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(あきたこまち)<br>播種：4/16<br>移植：5/18 | イネドロオイムシ | 岩手植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/18<br>移植当日 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種：4/11<br>移植：5/9 | イネドロオイムシ | 宮城植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/9<br>移植当日 | W 箱粒剤<br>50g/箱移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：3/31<br>移植：5/4 | イネドロオイムシ | 日植防研 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/4<br>移植当日 | F 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(つがるロマン)<br>播種：4/11<br>移植：5/22 | イネドロオイムシ | 青森植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/16<br>播種時覆土前 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | B | - |
| 21 | 稲(つがるロマン)<br>播種：4/11<br>移植：5/22 | イネドロオイムシ | 青森植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/22<br>移植当日 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | B | - |
| 21 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種：4/11<br>移植：5/9 | イネドロオイムシ | 宮城植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/11<br>床土混和 | W 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(ひとめぼれ)<br>播種：4/17<br>移植：5/16 | イネドロオイムシ | 宮城植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/17<br>覆土混和 | W 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ゆめみづほ)<br>播種：4/12<br>移植：5/13 | ウンカ類<br>(セジロウンカ) | 石川植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | | 5/13<br>移植当日 | Z 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | B | B | - |
| 21 | 稲(ハツシモ)<br>播種：5/11<br>移植：6/1 | ウンカ類<br>(ヒメトビウンカ) | 岐阜 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/1<br>移植当日 | Z 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | ウンカ類(セジロウンカ<br>ヒメトビウンカ<br>トビイロウンカ) | 山口 | 本田 | セ：中発生<br>ヒ：少発生<br>ト：少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | セ：A<br>ヒ：A<br>ト：A | A<br>A<br>C | A<br>A<br>C | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | ウンカ類(セジロウンカ<br>ヒメトビウンカ<br>トビイロウンカ) | 山口 | 本田 | セ：中発生<br>ヒ：少発生<br>ト：少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | セ：A<br>ヒ：A<br>ト：A | A<br>A<br>B | A<br>A<br>B | - |
| 22 | 稲(ゆめみづほ)<br>播種：4/13<br>移植：5/9 | ウンカ類<br>(セジロウンカ) | 石川植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/13<br>床土混和 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | B | B | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/20<br>移植：6/11 | ウンカ類(セジロウンカ<br>ヒメトビウンカ<br>トビイロウンカ) | 鹿児島植 | 本田 | セ：中発生<br>ヒ：極少発生<br>ト：極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/20<br>床土混和 | Z 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | セ：B<br>ヒ：?<br>ト：? | A<br>?<br>? | A<br>?<br>? | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/18 | ウンカ類(セジロウンカ<br>ヒメトビウンカ<br>トビイロウンカ) | 山口 | 本田 | セ：多発生<br>ヒ：極少発生<br>ト：極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>覆土混和 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | セ：A<br>ヒ：?<br>ト：? | A<br>?<br>? | A<br>?<br>? | - |
| 21 | 稲(あいちのかおり)<br>播種：5/11<br>移植：6/3 | ツマグロヨコバイ | 愛知 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/3<br>移植当日 | H 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | ツマグロヨコバイ | 山口 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(黄金錦)<br>播種：7/13<br>移植：7/31 | ツマグロヨコバイ | バイエル(高知) | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 7/31<br>移植当日 | I 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | ツマグロヨコバイ | 山口 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/20<br>移植：6/11 | ツマグロヨコバイ | 鹿児島植 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/20<br>床土混和 | Z 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 23 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種：5/25<br>移植：6/10 | ツマグロヨコバイ | 滋賀 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/25<br>床土混和 | AB 箱粒剤<br>50g/箱 移植3日前 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/18 | ツマグロヨコバイ | 山口 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>覆土混和 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | コブノメイガ | 山口 | 本田 | 第1：少発生<br>第2：中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | 第1：A<br>第2：A | A<br>A | A<br>A | -<br>- |
| 21 | 稲(愛のゆめ)<br>播種：6/5<br>移植：6/25 | コブノメイガ | 愛媛 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/25<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：5/12<br>移植：6/1 | コブノメイガ | 高知大 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/1<br>移植当日 | S 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | B | B | - |
| 21 | 稲(黄金錦)<br>播種：7/13<br>移植：7/31 | コブノメイガ | バイエル(高知) | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 7/31<br>移植当日 | I 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒヨクモチ)<br>移植：6/24 | コブノメイガ | 佐賀 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/24<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>移植：6/4 | コブノメイガ | 長崎 | 本田 | やや多<br>やや少 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/4<br>移植当日 | AC 箱粒剤 50g/箱<br>+AD 顆粒水和剤<br>500倍×500ml/箱<br>移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種：5/22<br>移植：6/19 | コブノメイガ | 鹿児島 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |



新農薬実用化試験成績概評（虫害）

| 検討年度 | 作物名(品種)<br>栽培条件 | 病害虫名 | 実施機関 | 圃場 | 発生状況 | 処理量 | 処理法 | 回数 | 処理月日 | 対照薬剤名<br>(処理条件) | 対対照 | 対無処理 | 判定 | 薬害 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | コブノメイガ | 山口 | 本田 | 第1：少発生<br>第2：中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | 第1：A<br>第2：A | A<br>B | A<br>B | - |
| 21 | 稲(愛のゆめ)<br>播種：6/5<br>移植：6/25 | コブノメイガ | 愛媛 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/5<br>床土混和 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | ± |
| 22 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：5/7<br>移植：5/31 | コブノメイガ | 高知大 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/7<br>床土混和 | I 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | B | B | - |
| 22 | 稲(さつま白もち)<br>播種：5/20<br>移植：6/10 | コブノメイガ | 鹿児島植 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/20<br>覆土混和 | Y 粒剤50g/箱 移植当日<br>箱粒剤50g/箱 移植当日 | A<br>B | A | A | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：5/12<br>移植：6/1 | コブノメイガ | 高知大 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/12<br>覆土混和 | S 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ゆきん子舞)<br>播種：4/16<br>移植：5/8 | ニカメイチュウ | 新潟 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/8<br>移植当日 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/9<br>移植：5/5 | ニカメイチュウ | 福井植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/5<br>移植当日 | X 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | B | B | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：3/31<br>移植：5/4 | ニカメイチュウ | 日植防研 | 本田 | 少発生<br>(卵塊接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/4<br>移植当日 | F 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(黄金錦)<br>播種：6/29<br>移植：7/17 | ニカメイチュウ | バイエル(高知) | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 7/17<br>移植当日 | D 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 22 | 稲(ゆめみづほ)<br>播種：4/13<br>移植：5/9 | ニカメイチュウ | 石川植 | 本田 | 少発生<br>(卵塊接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/13<br>播種時覆土前 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | B | B | ± |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/27<br>移植：5/16 | ニカメイチュウ | 福井植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/27<br>床土混和 | X 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/6<br>移植：5/3 | ニカメイチュウ | 日植防研 | 本田 | 少発生<br>(卵塊接種) | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/6<br>覆土混和 | B 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/8<br>移植：5/3 | フタオビコヤガ | 福井植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/3<br>移植当日 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(ミネアサヒ)<br>移植：5/19 | フタオビコヤガ | 岐阜植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/19<br>移植当日 | AE 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 21 | 稲(あいちのかおり)<br>播種：5/19<br>移植：6/9 | フタオビコヤガ | 愛知 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/9<br>移植当日 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | フタオビコヤガ | 山口 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 21 | 稲(ヒヨクモチ)<br>移植：6/24 | フタオビコヤガ | 佐賀 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/24<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 22 | 稲(ハナエチゼン)<br>播種：4/9<br>移植：5/3 | フタオビコヤガ | 福井植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/3<br>移植当日 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/30<br>移植：6/20 | フタオビコヤガ | 鹿児島植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/20<br>移植当日 | Y 粒剤50g/箱 移植当日<br>G箱粒剤50g/箱移植当日 | A<br>B | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | フタオビコヤガ | 山口(病虫) | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 22 | 稲(はえぬき)<br>播種：4/19<br>移植：5/13 | フタオビコヤガ | 山形 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/19<br>播種時覆土前 | I 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | B | ± |
| 22 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/7<br>移植：5/3 | フタオビコヤガ | 福井植 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/7<br>播種時覆土前 | E 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 22 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/30<br>移植：6/20 | フタオビコヤガ | 鹿児島植 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/30<br>床土混和 | Y 粒剤50g/箱 移植当日<br>G箱粒剤50g/箱 移植当日 | A<br>B | A | A | - |
| 22 | 稲(あいちのかおり)<br>播種：5/18<br>移植6/8 | フタオビコヤガ | 愛知 | 本田 | 無発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/18<br>覆土混和 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 23 | 稲(コシヒカリ)<br>播種：4/20<br>移植：5/15 | フタオビコヤガ | 福井植 | 本田 | 多発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 4/20<br>覆土混和 | AF 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>移植：6/3 | イネツトムシ | 兵庫植 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/3<br>移植当日 | AG 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | イネツトムシ | 山口 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/19<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 21 | 稲(愛のゆめ)<br>播種：6/5<br>移植：6/25 | イネツトムシ | 愛媛 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/25<br>移植当日 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | - |
| 21 | 稲(黄金錦)<br>播種：7/13<br>移植：7/31 | イネツトムシ | バイエル(高知) | 本田 | 甚発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 7/31<br>移植当日 | I 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | (B) | A | A | - |
| 21 | 稲(ヒノヒカリ)<br>播種：5/26<br>移植：6/19 | イネツトムシ | 山口 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 5/26<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 23 | 稲(キヌヒカリ)<br>播種：6/2<br>移植：6/25 | イネツトムシ | 長野 | 本田 | 極少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/2<br>播種時覆土前 | Y 粒剤<br>50g/箱 移植当日 | ? | ? | ? | - |
| 24 | 稲(しずく娘)<br>播種：6/8<br>移植：6/29 | イネツトムシ | 愛媛 | 本田 | 中発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/8<br>播種時覆土前 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | - |
| 21 | 稲(愛のゆめ)<br>播種：6/5<br>移植：6/25 | イネツトムシ | 愛媛 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/5<br>床土混和 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | A | A | A | ± |
| 22 | 稲(愛のゆめ)<br>播種：6/4<br>移植：7/1 | イネツトムシ | 愛媛 | 本田 | 少発生 | 50g/箱 | 育苗箱施用 | 1 | 6/4<br>覆土混和 | G 箱粒剤<br>50g/箱 移植当日 | B | A | A | ± |